

## 北海道八雲町 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

### 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和4年3月28日  
作成担当部署 農林課

### 2 第三セクターの概要

法人名 株式会社青年舎  
代表者名 代表取締役 吉田 邦夫  
所在地 北海道二海郡八雲町上八雲390番地 1  
設立年月日 令和元年6月27日  
資本金 25,000千円【八雲町の出資額（出資割合）12,100千円（48.4%）】  
業務内容 生乳の生産販売、乳牛肉牛の飼育販売、乳牛及び肉牛の預託管理、酪農担い手育成等

### 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

今後、町内の酪農家戸数を維持、若しくは減少ペースを緩やかにし、酪農を維持していくことを目的として、令和元年6月に町、農協、地域の生産者が出資し、新たに核となる株式会社青年舎を設立。

令和2年度については、国の「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」並びに町補助金により、搾乳ロボット牛舎や省力化機械の導入と研修施設を備えた施設整備事業に取り組んできた。当初計画より生乳生産を開始する準備段階として、収入については見込んでおらず、必要経費の先行投資を行い、人件費等を含めた経費の削減を図りながら営農計画に基づき経営してきたが、次年度における自給飼料生産等も同時に行うことから、直近の令和2年度決算時では債務超過額が11,275,899円となった。

また、令和3年には、「八雲町育成牧場」の指定管理者として、令和3年度から令和7年度までの5年間、八雲町から指定を受けている。

### 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

令和3年4月からは、計画的に初任牛を導入しながら生乳生産を開始しており、計画乳量を上回る成績となっている。また、八雲町育成牧場と育成牛舎の活用による通年預託を実現させるとともに、質の高い育成に努め、預託利用増加、肉用牛の高品質化による健全経営に取り組む。さらには、今後、全国から新規就農希望者を募り、道南一体の担い手確保と生産基盤の維持・拡大を目指していく。

### 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

株式会社青年舎においては、乳牛の糞尿を原料とするバイオガスの建設を計画しており、固定価格買取制度（FIT）での売電を行い、売上の増加に取り組む。また、メガファームのスケールメリットを活かした仕入れの効率化等による経費削減など、更なる収益改善を図る。

### 6 法人の財務状況

	項目	金額(千円)
		令和2年度
貸借対照表から	資産総額	1,296,713
	（うち流動資産）	798,637
	（うち固定資産）	487,121
	（うち繰延資産）	10,955
	負債総額	1,307,989
	（うち当該地方公共団体からの借入金）	0
	純資産額	▲11,276

	項目	金額(千円)
		令和2年度
損益計算書から	売上高	2,561
	売上原価	13,837
	販売費及び一般管理費	23,000
	営業利益	▲34,276
	営業外収益	298
	営業外費用	2,159
	当期純利益	▲36,276